

会議要旨

【開催概要】

会 議 名 称	平成28年度 第1回富田林市子ども・子育て会議
開 催 日 時	平成 28 年 8 月 29 日 (月) 15 : 00 ~ 16 : 40
開 催 場 所	富田林市役所 3階 庁議室
出 席 委 員 (名簿順表記)	・井上美智子委員 (会長)・開沼委員・恒川委員・中尾委員 (副会長) ・福田委員・辻野委員・二木委員・合田委員・井上一世委員 ・杉分委員・佐藤委員・岡本委員・吉岡委員・松田委員・北谷委員 ・小野委員 (計 16 名)
欠 席 委 員	岡野委員
事 務 局	子育て福祉部 : 北山部長 こども未来室 : 青木室長、寺元次長、辻野課長、大岡課長、矢口 教育指導室 : 西川主幹
会 議 次 第	1. 開会 2. 子育て福祉部長あいさつ 3. 委員および事務局自己紹介 4. 案件 ・富田林市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等について ・仕事・子育て両立支援事業の創設について 5. その他 6. 閉会
公 開 / 非 公 開	公開
傍 聴 者	0人
そ の 他	なし

【議事要旨】

	<p>1. 開会 (事務局)</p> <p>2. あいさつ (子育て福祉部長)</p> <p>3. 自己紹介 (各委員および事務局)</p> <p>4. 案件</p>
事務局	<p>・富田林市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等について</p> <p>●資料2「教育・保育のニーズ量の見込みと提供量に対する実績など」、資料3「地域子ども・子育て支援事業のニーズ量の見込みと提供量に対する実績など」、資料4「その他子育て支援事業の利用状況」の説明 (説明省略)</p> <p>●保育所・幼稚園の保育料について、利用者支援事業特定型・病児保育事業・育児ヘルパー事業の実施について、子育て世代包括支援センター(ネウボラ)の検討状況について、学童クラブの整備状況等についての情報提供 (説明省略)</p>
会長	<p>◇事務局から説明および情報提供のあった内容について、委員の皆さんの質問や意見をうかがう。</p>
委員	<p>◇新制度に伴う、保育料が変わったことによる大きな混乱はなかったということだが、子どもを公立幼稚園に通わせている保護者からは、保育料が上がったとの声をよく聞くが。</p> <p>◇利用者支援事業について、計画では27年度に特定型、28年度には基本型をそれぞれ1カ所実施するとなっていたが、切れ目ない支援ということで子育て世代包括支援センターの法定化に伴い、市として基本型に替えて母子保健型を実施していくということか。</p> <p>◇待機児童について、地域ごとのニーズの把握や対策を検討してほしい。</p>
事務局	<p>●保育所の保育料については、所得や家族構成によって上がった人もいれば下がった人もいるが、全体として見れば国の基準額と比較して本市の保育料は、平成26年度の61.6%から27年度は58.7%と下がっている。幼稚園については、これまで一律の保育料であったものが、応能負担になったことにより保育所と同様に上がった人もいれば下がった人もいる。問い合わせ等があったときには丁寧に説明していく。</p> <p>利用者支援事業の基本型については、計画を見直すということではない。実施には予算を伴うことから計画どおりに実現できていないということで、方向性に変わりはない。</p>

委員	◇病児保育の実施については、非常に有難く思っているが、保育所や学童クラブ等を利用している児童が対象となっている。幼稚園児は利用できないのか。
事務局	●私立の幼稚園で預かり保育を継続的に利用しながら働いている場合や、一時保育を利用しながら働いている場合等も利用していただくことができる。
委員	◇就労している保護者だけでなく、親の介護やきょうだいの療育等の場合でも利用できるか。
事務局	●家庭の状況に応じて判断していくことになるが、就労以外でも保育を必要とする場合は利用できる。病児保育は初めての事業であるので、利用状況等をみながら、今後、広報のあり方も含め、検討していきたい。
事務局 会長	<p>・仕事・子育て両立支援事業の創設について</p> <p>●資料5「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の概要」の説明</p> <p>◇事務局から説明のあった内容について、委員の皆さんの質問や意見をうかがう。</p> <p>(意見なし)</p>
会長	本日の案件については以上とする。
事務局	<p>次回の会議は、引き続き事業計画の点検・評価を行っていただく機会として、来年の夏から秋頃に開催を予定している。</p> <p>なお、次世代育成支援行動計画の分野別計画として、第2次富田林市ひとり親家庭自立促進計画があり、その計画期間が平25年4月から平成30年3月までとなっていることから、平成29年度中に第3次計画を策定する必要がある。策定にあたって、委員の皆様のご意見を頂戴したいので、来年度は点検・評価とは別にもう1回開催していきたい。時期は再来年の1～2月頃を予定している。また、ご審議いただきたい事案があったときには随時開催していきたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>